

市長の窓

しげ のぶ
滋宣の

ぼう ちゅう かん

あん ちゅう めい

“忙中開あり暗中明あり”

その 13

～無財の七施～

仏教に「無財の七施」という言葉があります。

お金がなくても、財産がなくとも、誰にでもできる七つの施しです。

一 捨身施	しゃしんせ	体で行う奉仕
二 心慮施	しんりょせ	温かい心配り
三 和顔施	わげんせ	和やかな顔で人に接する
四 愛語施	あいごせ	愛情のこもった言葉使い
五 慈眼施	じょうざせ	慈悲の目で人を見る
六 床坐施	じゆざせ	座席を譲る。自分が一步下がって人をたてる
七 房舎施	ぼうしゃせ	おおらかな包容力

「受けるより与える者は幸せなり」といいますが、七施のうち、一つでも二つでも、お互いに実践を心掛けば、「物あふれ心貧しき時代」といわれるような世の中にはならないと思います。

一人光る 皆光る 何もか彼も光る
火の出る箱 燐寸さくを見つめる
棟方志功

能代市長 齊藤 滋宣

能代商業高校が甲子園出場を決めて、「うれしい!自分の母校が甲子園出場した時よりずっとうれしい!」

